

神奈川県社保協ニュース

神奈川県社会保障推進協議会 【NO. 24-5】 2024年10月31日発行
横浜市中区桜木町3-9 平和と労働会館6F TEL045-201-3900・FAX045-212-5745

「保険証残してください」署名 192 筆！！

医療・健康フェスティバル



10月20日13時から16時、保険医協会が横浜そごう前で「医療・健康フェスティバル」を開催しました。テーマは、「保険証廃止カウントダウン!?」—なくさなくたっていいじゃない—。

保険医協会は、県民に広く医療・健康問題に関心を持っていただくことを目的に、「医療・健康フェスティバル」を定期開催し、例年1,000名以上の方が来場し、好評を博しています。今年にはコロナ禍後、5年ぶりに医科・歯科無料相談が復活！さらに、12月に迫る保険証廃止に関する相談コーナーや医療費の窓口負担「ゼロの会」についての宣伝、SNSへの写真投稿で景品がもらえる企画など様々な企画を実施しました。

「なくすな保険証！神奈川県連絡会」のメンバーも応援に駆けつけ、ティッシュ入りチラシ3000枚を配布、「保険証残して署名」192筆も寄せられ、シール投票は保険証廃止反対217、廃止賛成12でした。ゼロの会の賛同も159筆寄せられ、各ブースでは医師を中心に市民との対話が生まれました。

相談①【派遣の契約更新がない方】

40代後半女性の方。12月1日で派遣契約が切れ12月2日から現在の社会保険から国民健康保険に移行するが、どうしたらよいのか。マイナ保険証は持っていないので、取得する必要があるのか。

相談②【高齢者でマイナ保険証へは拒否感が強い方】

マイナ保険証登録も、マイナカードの取得も、不信感からしておらず、金輪際、そのつもりもないが、12月以降、どうしたらよいのか、という高齢の女性。8割以上がマイナカードを持ち、8割がマイナ保険証登録をしているのに、利用は12.4%で、こんな状況でなんで保険証廃止にするんですかね、と多少、怒り気味。

相談③【解除申請に役所に行ったが…】

50代の女性。マイナ保険証登録はしたが、マイナカードも持ち歩くのは失くしたときの不安が強く、持ち歩いていないし、今後もそのつもりもない。横浜市の国保に加入しているが、保険証が12月1日に廃止となると聞き、その代替の資格証明は、マイナ保険証の登録解除をしないと自動的に送ってこないというので、数日前に解除手続きで南区の役所に行ったが、「詳しいことはわからず、われわれも困っている」の一点張りですりつかしませんが、ない状況だった。どうしたらよいのか。

このように、保険証廃止への怒り、不満の声が寄せられました。＜保険医協会事務局よりの情報提供＞

総選挙

自民党・公明党の与党が少数に転落！！

10月27日投票でたたわれた衆議院選挙は、「裏金」問題が大争点となり、自民党・公明党の与党が少数となりました。立憲民主党、国民民主党、れいわ新選組が躍進しました。この間の国会への署名提出では、立憲民主党と日本共産党、れいわ新選組の議員が紹介議員になり署名を受取っていただいています。立憲民主党、れいわ新選組が躍進したことは良かったのですが、日本共産党が後退したことは残念です。

獲得議席			議席				
	合計	選挙区	比例	合計	選挙区	比例	
自民	191	132	59	れいわ	9	0	9
立民	148	104	44	社民	1	1	0
維新	38	23	15	参政	3	0	3
公明	24	4	20	保守	3	1	2
共産	8	1	7	無・他	12	12	0
国民	28	11	17				

神奈川県社保協は、10月11日開催の幹事会名で、〈総選挙アピール〉

「ミサイルよりも、医療・介護・くらしを守る社会保障を前進させる政治に変えよう！！」を確認し、配信しました。アピールでは、「大軍拡」と「社会保障削減」に突きすすむ政治を終わらせるために全力をつくすことを呼びかけ、以下の重点要求をかかげました。

- ① 軍事の拡大ではなく社会保障の拡充をすすめること。消費税を減税すること。
- ② 12月2日実施予定の健康保険証廃止を中止し、現行の健康保険証とマイナ保険証を両立させること。
- ③ 国民健康保険、後期高齢者医療制度、介護保険の財源として、国費の投入、国の負担割合を増額させること。
- ④ 訪問介護費の介護報酬引き下げを撤回し、引き上げの再改定を早急に行うこと。

与党が少数に転落し、私たちの要求実現の展望が切り開かれつつあります。「人権としての社会保障」を実現するため、さらに運動を前進させていきましょう。

18市町村の国保担当課との懇談、連続的に開催！！

この秋、昨年に引き続いて、市町村の国保担当課と①保険料（税）の状況と神奈川県の運営方針への対応、②マイナ保険証一元化への対応などについて、懇談しています。

7月に相模原市、8月に大磯町、9月に横浜市、10月に平塚市、大和市、綾瀬市、座間市、三浦市、厚木市、愛川町、清川村、真鶴町、箱根町、大井町、開成町、中井町、秦野市、南足柄市と18市町村と懇談しました。11月7日に鎌倉市、12月20日に小田原市と決まっております、これからも懇談をすすめていきます。

この間の懇談で以下の点が共通して明らかになりました。

●被保険者の減少が著しく、高齢者と低所得者の比率が高まる

前期高齢者の後期高齢者医療制度への移行、社会保険への移行により、被保険者の減少が著しい。高齢者と低所得者の比率が高くなり、国保の運営が厳しくなっています。

●決算補填目的の法定外繰り入れの禁止への対応強まる

保険料水準の統一への対応と令和8年をメドに法定外繰り入れ禁止への対応をしなければならないとしています。基金の活用もすすめていますが、保険料の据え置き維持はむずかしくなっています。国の財政支援が必要と異口同音に語っています。

●「資格確認書」は「マイナ保険証での受診が困難」と申請すれば交付される

国保と後期高齢者医療の現在の被保険者の保険証は、来年7月31日までが有効期限です。建設国保の保険証は来年9月30日が有効期限。協会けんぽと組合健保の保険証は来年12月1日まで有効期限。それ以降は、マイナ保険証を持っていない方は「資格確認書」発行となりますが、マイナ保険証を持っている方でも、要配慮者だけでなく、マイナ保険証での受診が困難である方は、申請すれば資格確認書の交付を受けられるとしています。混乱してしまうのは明らかで、自治体職員からは「健康保険証のままでいい」という声が多数です。

●マイナンバーカードとの健康保険証の利用登録解除の受付が始まった

自治体では、10月28日から「マイナ保険証の利用登録解除」の受付を開始しました。



「訪問介護の基本料引き下げ」9割が「納得できない」！！

政府は4月、3年に1回の介護報酬を全体で1.59%引き上げましたが、訪問介護だけが基本報酬ダウン。しかも引き下げ率は2~3%で過去最大です。神奈川県社保協では、今年3月に基本報酬引き下げに反対する意見書102通を提出しました。4月下旬、中央社保協は、厚労大臣と財務大臣あてに「訪問介護費引下げ撤回と介護報酬の再改定を早急に求める要請書」の取り組みを全国に呼びかけました。神奈川県社保協として呼びかけたところ、社保協加入の組織のみならず、県内の多くの介護事業所で働く人たちから要請書が寄せられました。6月3日の介護署名提出国会集会では、全国からの3720筆の要請書を厚労省・財務省に提出し、神奈川では361筆の要請書を提出しました。

訪問介護事業所アンケート

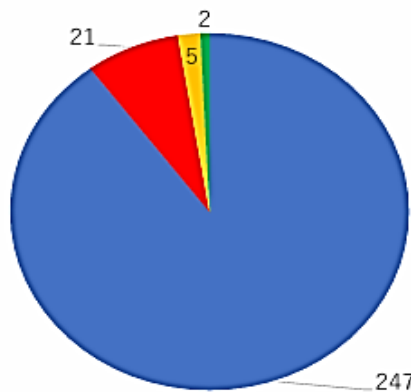
介護報酬の引き下げによって訪問介護事業所はどういう状況なのか調査する必要があるということから、「介護保険のいまと未来を考える実行委員会」で話し合い、神奈川民医連が訪問介護事業所調査を実施しました。

9月に、神奈川県内の訪問介護事業所約2,300のうち、1,000事業所に訪問介護事業所の緊急アンケートを送りました。うち39通が宛先不明でしたので、母数は961事業所です。10月29日現在、278事業所から回答があり、神奈川民医連が集計・分析し、10月30日に、県政記者クラブで記者会見を行いました。

回収率28.9%と、こんなに多くの事業者からアンケートが寄せられたのはそれだけ深刻な事態となっている証左です。アンケートとともに寄せられた介護署名は、950筆以上にのぼります。

その結果、今回の報酬改定に「納得できない」との回答が89.5%、経営の影響について「悪化する」「事業継続が困難」の回答が合わせて77.9%となりました。多くの事業所が経営危機と言える状況の中、記述式の回答からも「基本報酬がずっと上がっていないので、経営が苦しい。基本報酬の増額を望みます。」「経営が成り立たないので閉鎖を考えています。」「基本単位の増加が無くては事業所運営に支障をきたす。事業所が倒産していく状況は免れない。」「基本報酬が減ってしまうと経営が難しくなる。基本報酬が減ったので、処遇改善加算の上乗せではカバーできない。」「物価が上昇しているのに何故下げるのかまったく意味がわからない。」などの意見が寄せられています。

訪問介護サービスの基本料引き下げについて9割が「納得できない」



今回の介護報酬改定で、訪問介護サービスの基本料引き下げについて「納得できない」（89.6%）と最も多く、多くの事業所が不満を抱えている事を表した結果となりました。記述式の回答でも「訪問介護の報酬見直しを早急に行ってほしい。」「処遇改善は上がるが、基本報酬がずっと上がっていないので、経営が苦しい。基本報酬の増額を望みます。」「一般は賃金を引き上げている現状のなか、報酬改定と言っても訪問介護サービスについては、基本報酬の引き下げになり、何とも納得のいかない状況です。ますます高齢化が進む中、在宅の重要性も理解できていないようで、これでは訪問ヘルパーも減るばかりです。もう少し、現実を見ていただきたい。」と切実な声が上がっています。

● 納得できない	● わからない・どちらともいえない	● 納得できる	● 無回答
249件 (89.6%)	22件 (7.9%)	5件 (1.8%)	2件 (0.7%)

※「訪問介護サービスの基本報酬引き下げに関するアンケート集計結果」は社保協ホームページに載せています。

<神奈川社保協ホームページURL> <https://kanagawa-shahokyou.jp>

- ◆11月11日(土) 10:00~17:00「介護・認知症何でも無料電話相談」を実施します。介護事業に携わるケアマネージャー、ソーシャルワーカーが対応します。介護にかかわる相談、なんでも受け付けます。
- ◆11月16日(土) 13:00~16:30 建設プラザかながわ4F 会議室で、全県国保改善交流集会を開催します。「健康保険証の存続と国保改善運動の展望」をテーマに、神田敏史さんにお話しいただきます。また、この秋に取り組んでいる市町村国保調査、市町村の国保担当課との懇談内容と特徴を報告し、地域運動の前進につながる交流会とします。

2024全県国保改善交流集会

11月16日(土)

13:00~16:30

(12:30開場)



<学習講演>
神田敏史さん
●神奈川自治労連役員

健康保険証とマイナ保険証をめぐる最新情勢と市町村国保の改善運動の展望について語っていただきます。

<基調報告> **根本隆** ●県社保協事務局長

この秋に集約した「2024年度市町村国保調査」と「市町村国保課懇談」の特徴を報告し、市町村国保の現状と私たちの運動方向について提起します。

<討論> 各団体・地域の取り組みなど

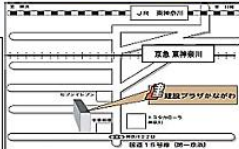
建設プラザかながわ
4 F 会議室
JR「東神奈川駅」下車徒歩5分

資料代
500円
(会場参加)

<ZOOM視聴はこちらから>

<https://x.gd/FJYWK>

ZOOM視聴は当日12時30分から接続できます。講演レジュメ・資料は、前日(11月15日)までに神奈川県社保協ホームページにアップします。



<主催> 神奈川県社会保険推進協議会(神奈川県社保協)
TEL:045-201-3900 FAX:045-212-5745
info@kanagawa-shahokyou.jp <https://kanagawa-shahokyou.jp>

健康保険証の存続と 国保改善運動の展望

第14回 介護・認知症 なんでも無料電話相談

こんな事で困っていませんか?



自分や家族が
介護を受けることが
できるか心配



介護の仕事をしているが、
不安や心配ごとがある



利用中の介護
サービスへの
不安がある

介護・認知症なんでも無料電話相談には、介護の専門家が対応します。プライバシーは厳守します。



ひとりで抱え込まないで
お気軽にご相談ください
相談することで心がふっと軽くなりますよ

とき

11月11日(月)
10時~17時

でんわ

0120-110-458

神奈川県社会保険推進協議会

横浜市中区桜木町3-9 TEL:045-201-3900 FAX:045-212-5745

<<11月の主な行動・会議日程>>

- 11月1日(金) 県社保協第5回常幹 14:00 建設プラザ3F 会議室+(ZOOM)
(なくすな保険証!神奈川県連絡会事務局団体会議)
- 11月3日(日) 11.3 国会大行動 14:00 国会議事堂正門前
茅ヶ崎民商婦人部「マイナ保険証」学習会 12:00 茅ヶ崎民商會館
- 11月4日(月) 神奈川県弁護士会「人権シンポ」10:00 弁護士会館+開港記念会館講堂
- 11月5日(火) 県社保協医療保険改善委員会 14:00 神商連会館2F 会議室+(ZOOM)
- 11月6日(水) 県民要求連絡会県交渉(行財政) 9:00 波止場会館5F 会議室
中央社保協運営委員会&介護障碍部会 10:30 日本医療労働会館+(ZOOM)
- 11月7日(木) 国民大運動実行委員会事務局団体会議 9:00 平労会館4F 会議室+(ZOOM)
市町村国保担当課との懇談(10:00 鎌倉市)
保険証残せ集会・パレード 13:00 日比谷野外音楽堂
湘南学園生徒の県社保協訪問 14:00 平和と労働会館3F 会議室
- 11月8日(金) 年金一揆 13:00 日比谷野外音楽堂
県社保協第5回幹事会 14:00 保険医協会会議室+(ZOOM)
- 11月9日(土) 神生連大会 10:00 見福センター一会議室
- 11月11日(月) 特別国会開会
介護・認知症なんでも電話相談 10:00~平労会館6F 自治体問題研究所
- 11月12日(火) 県民要求連絡会県交渉(社会福祉) 13:00 開港記念会館6号室
- 11月13日(水) ぜん息患者医療費助成制度の創設を 11.13 日産本社前行動 12:00 日産本社前
- 11月14日(木) なくすな保険証!神奈川県連絡会宣伝行動 14:00 伊勢佐木町有隣堂前
- 11月15日(金) 介護のつどい実行委員会 14:00 平和と労働会館3F 会議室+(ZOOM)
- 11月16日(土) 全県国保改善交流集会 13:00 建設プラザ4F 会議室
- 11月18日(月) 消費税廃止各界連運営委員会 15:00 神商連会館会議室
- 11月20日(水) 県民要求連絡会県交渉(保健・医療・介護) 9:00 開港記念会館1号室
- 11月22日(金) 消費税廃止各界連宣伝行動 14:00 伊勢佐木町有隣堂前
- 11月22~23日 日本高齢者大会 in あいち
- 11月23日(土) 地域医療を守る運動全国交流集会 11:00 全労連会館2F ホール
- 11月24日(日) 神奈川自治体学校 13:30 健康福祉センター4F ホール
- 11月28日(木) なくすな保険証集中行動日 12:00 国会議員会館内外
横浜市旭区生健会学習会 13:00
オンライン資格確認義務不存在裁判判決 15:00 東京地裁
- 11月29日(金) 県民要求連絡会事務局会議 13:00 県職労連会議室+(ZOOM)
- 11月30日(土) 平塚地域社保協総会 14:00 平塚市勤労会館2F 中会議室